

# 対馬の魅力を活かした地域づくり

—ツシマヤマネコをテーマとして—

## 生物多様性と持続可能な地域社会

1992年に生物の多様性に関する条約が制定され、多様な自然の恵み（生物資源）の持続可能な利用のために、地域毎にそこでの特徴的な自然環境を保全していくことが世界的な取り組み課題となっています。

そのような中で、環境省は1997年にツシマヤマネコ保護増殖事業の拠点として長崎県・対馬市と共同で「対馬野生生物保護センター」を開設しました。

ツシマヤマネコの生息環境を保全するためには、地域社会とツシマヤマネコの共生が必要不可欠であることから「ツシマヤマネコと共生する地域社会づくり」が保護増殖事業の重要な柱のひとつとなっています。環境省では2002年より地域住民と連携しモデル事業を実施してきました。

## 野生生物と地域社会の共生を象徴するツシマヤマネコ

野生生物の中でもツシマヤマネコは、対馬の生態系ピラミッドの頂点に位置する動物であり、ツシマヤマネコを保護することは、地域全体の生態系の保全上重要です。また、薪炭林でドングリなどの実を食べるネズミや水を張った田んぼのカエルを食べるなど、人の暮らしと深く関わりながら生息してきた歴史を持ち、野生生物と共生する地域社会づくりを進める上で、重要な種であると言えます。

しかしながら、薪炭林や田畑などの生息環境の減少、モータリゼーションによる交通事故の増加など、様々な要因によって個体数が著しく減少しました。このような背景から、学術的にも希少な種であるとして、1971年に文化財保護法に基づき国の天然記念物に指定され、さらに、1994年には種の保存法に基づく国内希少野生動植物種に指定、さらに、1998年には環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠA類に掲載されています。



# ツシマヤマネコの保護に関連する様々な取り組み年表

これまでのツシマヤマネコの保護に関連する取り組みは、種の保護対策の充実に始まる、以下の4つのステージにより進められています。ここでは、ツシマヤマネコの推定個体数が減少している状況とともに、主な取り組み内容を以下にまとめました。

| 分類                          | 西暦                 | ツシマヤマネコに関連する内容   |                                       |
|-----------------------------|--------------------|--|---------------------------------------|
| 第1ステージ<br>種の保護対策の充実         | 1908               | ・イギリス人のトーマス博士が「対馬の哺乳類リスト」に記載   |                                       |
|                             | 1949               | ・非狩猟鳥獣に指定  |                                       |
|                             | 1966               | ・天然記念物(県)指定  |                                       |
|                             | 1968               | ・壱岐対馬国定公園指定  |                                       |
|                             | 1970               | ・1970年頃の生息推定個体数(200~300頭と推定)(このころから耕作面積が激減)  |                                       |
|                             | 1971               | ・天然記念物(国)指定  |                                       |
|                             | 1983               | ・厳原町で交通事故死体発見される   |                                       |
|                             | 1985               | ・第1次特別調査「ツシマヤマネコ生息環境等調査」実施   |                                       |
|                             | 1988               | ・ツシマヤマネコ第1次生息調査(1985~1987年)発表(89~126頭と推定)  |                                       |
|                             | 1989               | ・国設伊奈鳥獣保護区設置<br>・リーフレット・ステッカー・ポスターなどを用いた普及啓発活動開始   |                                       |
|                             | 1991               | ・レッドデータブック(旧)にツシマヤマネコを「絶滅危惧種」として記載   |                                       |
|                             | 1993               | ・「ツシマヤマネコ・シンポジウム」開催<br>・「ツシマヤマネコを守る会」設立<br>・御岳特定動物生息地保護林選定(125ha)及び希少野生動植物種保護管理事業開始  |                                       |
|                             | 1994               | ・ツシマヤマネコを国内希少野生動植物種に指定   |                                       |
|                             | 1995               | ・「ツシマヤマネコ保護増殖事業計画」策定   |                                       |
|                             | 1996               | ・人工繁殖用の個体捕獲開始  |                                       |
|                             | 1997               | ・対馬野生生物保護センター開所<br>・ツシマヤマネコ第2次生息調査(1994~1996年)発表(70~90頭と推定)  |                                       |
|                             | 1998               | ・ツシマヤマネコ保護増殖事業連絡協議会発足<br>・レッドリスト見直しの際にツシマヤマネコを「絶滅危惧ⅠA類」として記載<br>・季刊誌「とらやまの森」創刊<br>・交通事故防止キャンペーン開始  |                                       |
|                             | 2000               | ・福岡市動物園にて仔ネコ誕生   |                                       |
|                             | 第2ステージ<br>保護への気運向上 | 2001   | ・対馬動物診療所を開所<br>・「日韓ヤマネコシンポジウム」開催      |
|                             |                    | 2002   | ・「自然教室」「ツシマヤマネコ博士」講座開催、HP開設、季刊誌全戸配布開始 |
| 2003                        |                    | ・「ツシマヤマネコ応援団」設立、とらやまの森づくりに向けドングリの苗畑づくりを開始<br>・FIV感染個体1頭の一般公開開始   |                                       |
| 2004                        |                    | ・集落座談会「ツシマヤマネコと対馬地域の活性化」開始<br>・福岡市動物園、2頭のヤマネコの一般公開開始<br>・「ツシマヤマネコ再導入基本構想」公表<br>・市民シンポジウム「対馬もヤマネコもーツシマヤマネコと地域の活性化ー」開催<br>・「NPO法人どうぶつたちの病院対馬動物医療センター」を開所 |                                       |
| 2005                        |                    | ・対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会設置<br>・ツシマヤマネコ第3次生息調査(2002~2004)発表(約80頭又は110頭と推定)  |                                       |
| 2006                        |                    | ・ツシマヤマネコ保全計画づくり国際ワークショップ(1日)開催<br>・舟志の森づくり(企業と地元による森づくり)開始   |                                       |
| 2007                        |                    | ・「対馬環境教育ワークショップ2008」開催<br>・佐護ツシマヤマネコ米販売<br>・全島アンケートの実施   |                                       |
| 第3ステージ<br>多様な主体の連携による事業の活発化 | 2008               | ・交通事故のハザードマップ、エコドライバーズマニュアルの配布の開始<br>・「ツシマヤマネコ寄付条例」施行、「対馬やまねこ空港」の表示の実施   |                                       |
|                             | 2009               | ・ツシマヤマネコ野生復帰シンポジウム開催<br>・対馬市島おこし協働隊受け入れ開始  |                                       |
|                             | 2010               | ・「ツシマヤマネコ保護増殖事業実施方針」の策定<br>・対馬市環境基本条例、対馬市森林づくり条例施行<br>・ツシマヤマネコ野生順化施設整備開始   |                                       |
| 第4ステージ<br>市全域での取組に発展・充実     | 2013               | ・対馬自然保護官事務所厳原事務室開所<br>・ツシマヤマネコ第4次調査(2011~2012年)発表(約70頭又は100頭と推定)   |                                       |

ツシマヤマネコと共生する地域社会づくり事業開始